



<147>

情報資産管理の支援

セキュリティリサイクル研究所(SRI)は1996年11月に設立。機密文書の管理業務を支援する。金融機関への導入実績を生かしたコンサルティングから、システム提供、倉庫管理、抹消サービスまでを包括的に手掛ける。北村真代表取締役社長(41)に、金融機関での情報資産管理の現状や今後の展開について聞いた。

セキュリティリサイクル研究所

代表取締役社長 北村 真氏

「サービスの強みは、業務効率は。現在は、業務効率は。」

「金融機関への導入実績を生かしたコンサルティングサービスが強い。機密書類は、金融機関によって管理手法が違うので、しっかりと本支店間での管理状況をモニタリングしたうえで、管理方法を決定する」

「従来は『倉庫で書類を預かってほしい』『機密情報の抹消をほしい』など、サー

「従来は『倉庫で書類を預かってほしい』など、サー

「従来は『倉庫で書類を預かってほしい』など、サー

きたむら・まこと 新潟県出身、41歳。93年関西外大卒、入社、2006年経営企画部長、10年4月常務取締役、13年6月副社長、17年1月から現職。

後方事務体制 見直しを

「保険業界では、働き方改革の一環で、当社サービスの導入が進んでいる。紙文書を減らし、収納キャビネットを撤廃。書類検索を外部委託に切り替え、後方事務などの体制見直しを図っている。今は、紙と電子文書を使い分けて業務をしているが、近い将来、完全なペーパーレス化が実現する。時代に合った電子文書サービスも提供していく」

(聞き手 円谷 真)